

### 1 津波とは

津波とは地震による海底地殻の隆起や沈降によって、海水が上下に変動することで引き起こされます。海水そのものが水の塊となって動くため、風によって引き起こされる波よりも威力が大きく、その規模によっては壊滅的な破壊力を持っています。津波の「津」とは「港」を意味し、「波」とは「津」に押し寄せた異常に大きな波のことを意味します。

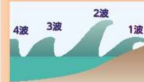
#### 津波の特徴

##### 津波の速さと高さ



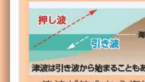
津波の速さは、海の深いところでは速く、浅くなるにつれて遅くなりますが、波の高さは浅くなるほど高くなります。

##### 繰り返し襲ってくる



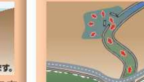
津波は1度目と2度目の方が高いこともあります。

##### 押し波と引き波



津波が沖合から海岸に向かって進行する場合は押し波といいますが、津波が海岸から沖合に向かって進行する場合は引き波といいますが、被害をもたらすことがあります。

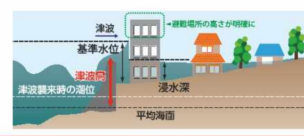
##### 河川の遡上



津波が河川を遡上し、堤防を超えたり壊れたりして、被害をもたらすことがあります。

#### 用語解説

- 津波高** 海岸線における、平均海面から津波の水面までの高さ
- 到達時間** 津波が海岸に到達するまでの時間
- 浸水深** それぞれの場所において、水面が最も高い位置にきたときと海面から水深までの高さ
- 基準水位** 浸水深+建築物等への衝突をよせり上げ高さ



### 2 津波から命を守るために

**自らの命は自ら守る** 海や川の近くにいる地震にあつたら、すぐに避難することが大原則です。

#### 津波から命を守るために

●津波警報を見たり聞いたりしたら急いで逃げる。揺れが小さくても大きな津波が起きることもあります。



●できるだけ早く海や川から離れましょう。津波は低いところから襲います。できるだけ早く、海や川から離れ、高いところへ逃げましょう。



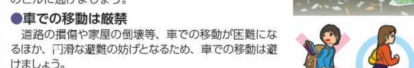
●津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が出ている間は避難をつける。初めの波より後に来る波が大きいこともあります。



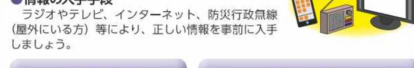
「イヤ! またきた!」

#### 適切な避難のために

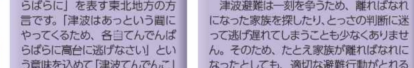
●近くに高台が無い場合は? 津波に遭ったビルや放射コンクリートの堅牢な構造のビルに逃げましょう。



●車の移動は厳禁 必要以上のものを持ち出さないようにしましょう。避難の妨げとなるため、車の移動は避けましょう。



●無駄なものは持ち出さない 避難の妨げとなるため、車の移動は避けましょう。



●情報の入手手段 ラジオやテレビ、インターネット、防災行政無線(屋外にいる方)等により、正しい情報を事前に入手しましょう。

#### 津波でんでんこ

「でんでんこ」とは「でんでんばらばら」を表す東北地方の方言です。「津波はあつという嵐にやってくるため、各自でんでんばらばらに高台に逃げなさい」という意味を込めて「津波でんでんこ」と言われ、「自らの命は自ら守る」という大原則を表しています。

#### 家族や地域で事前に話し合

津波避難一刻を争うため、逃げればならなくなった家族を探したり、ついでの判断に迷って逃げ遅れてしまうこと少なくありません。そのため、たとえ家族が逃げればならなくなったとしても、適切な避難行動がなされるように、家族や地域でお互いの行動をあらかじめ話し合い、決めておくことが大切です。

#### 津波フラッグ

気象庁が発する津波警報等(津波注意報、津波警報、大津波警報)は、テレビ、ラジオ、緊急速報メール、防災行政無線等、様々な手段で対象地域にいる人々に伝達されます。視覚による伝達手段として、これまでオレンジフラッグを使用していましたが、気象庁が令和2年6月に気象業務法施行規則及び予報警報標識規則を改正し、全国統一で「赤と白の格子模様の旗(津波フラッグ)」を使用することになりました。津波フラッグは、令和3年度から「オレンジフラッグ」にかえて使用を開始しています。

#### 津波の教訓を生かす

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、約19,000人の方が津波の犠牲になりました。今後、このような犠牲者を出さないため、この震災の教訓を教訓とし、震災を自分のこととして考えることも大切です。

#### 見えてくる教訓

- 津波避難は一刻を争うもの。ためらわずに急いで避難する。
- 家族や親戚が心配でも、海や川のそばには絶対に戻ってはいけません。
- 車での避難は危険。渋滞に巻き込まれ、逃げ遅れることがある。
- 油断をしない。予想外に大きな津波に襲われることがある。
- 地震による停電や機器の故障などで津波警報等の情報がとれないこともある。情報に依存せず、適切に避難する。

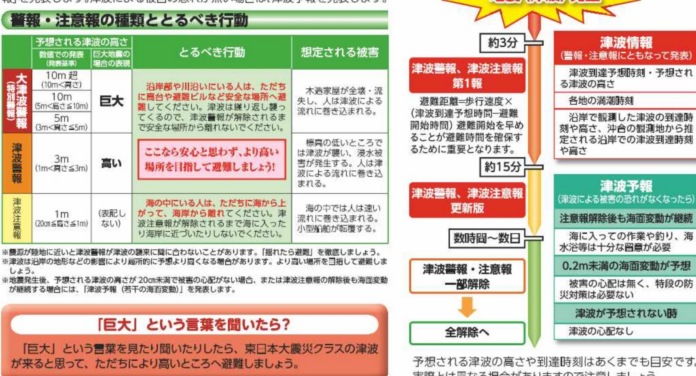
#### 津波災害に備えて

このハザードマップを見て、津波や津波避難について家族や地域で話し合います。普段から、津波の恐ろしさや避難の方法など災害時の行動を話し合っておくことが、いつ襲ってくるかわからない津波に対する有効な備えといえます。

### 3 津波警報・注意報と津波情報

津波による被害が予想される場合、大津波警報(特別警報)、津波警報、津波注意報を発表し、同時に到達予想時刻と予想される津波の高さなど「津波情報」を発表します。津波による被害の恐れが無い場合は、津波警報を発表します。

#### 津波に関する情報の発表タイミング



#### 「巨大」という言葉を聞いたら?

「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちに高いところへ避難しましょう。実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。

【参考文献】気象庁ホームページ、一般財団法人日本気象協会「海波の基礎知識」【写真出典】国土交通省「東日本大震災の記録—国土交通省の災害対応—」